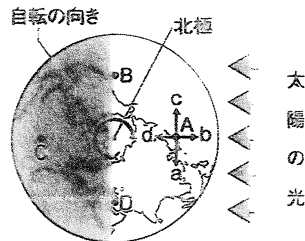


18	地球と宇宙 太陽と星の1日の動き	氏名	得点 点
----	---------------------	----	-------------

1 〈地球の自転と方位〉 図は、地球の北極側から見たときの、地球と太陽の位置関係と地球の自転を表したものである。図のとき、日本はA地点にある。次の問いに答えなさい。

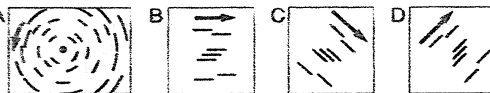


- (1) A地点において、a, dが表している方位は、それぞれ東・西・南・北のどれか。
- (2) A地点にある日本は、次のうちいつごろか。ア～エから選び、記号で答えなさい。
ア 日の出 イ 日の入り ウ 正午 エ 真夜中
- (3) 地球が自転して日本がB地点にくるのは、図のときからおよそ何時間後か。
- (4) 地球が自転して日本がDの位置にきたとき、太陽が見える方位は、東・西・南・北のどれか。

(1)	a
	d
(2)	
(3)	
(4)	

2 次の問いに答えなさい。

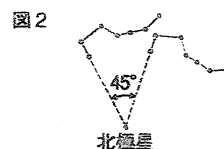
- (1) 図1は、日本のある地点で、東・西・南・北



- の空の星の動きを一定時間記録したもので、矢印は星の動いた向きを表している。A～Cは、それぞれどの方位の空の星の動きを記録したものか。
- (2) 次の①、②の文の()に当てはまる言葉は何か。②では、東から西、西から東のどちらかで答えなさい。

- ① 星の1日の動きを観察すると、北の空の星は、(㉔)星(天の北極)を中心として、1時間におよそ15°の割合で(㉕)回りに回転しているように見える。
- ② 星の動く向きは方位によってちがうが、空全体では、地球の地軸を延長した軸を中心として、星のはりついた天球が(㉖)へ1日に1回転しているように見える。これは、地球が地軸を中心として、1日に1回、(㉗)へ自転していることによって起こる。

- (3) 図2は、北の空に見えた北斗七星を、時間において2回観察したときの位置を記録したものである。このとき、何時間おいて観察したか。



	A
(1)	B
	C
	㉔
	㉕
(2)	㉖
	㉗
(3)	